

■ 設立趣旨

今日、私たちは地球規模のさまざまな環境問題に直面しているといえます。それらは大局的に、オゾン層の破壊から地球温暖化、酸性雨、熱帯雨林の減少とそれに起因する砂漠化、海洋の汚染など広範囲な領域にまでおよびました。その深刻な状況は、情報社会の進展、グローバル化などの経済社会システムの急激な変化により、ますます加速する様相を呈しています。

20世紀は社会の近代化とともに「大量生産、大量消費、大量廃棄」の効率型社会を出現させるに至りました。しかしその反面、現在の私たちが抱えている多くの環境問題が、この20世紀型社会のライフスタイルにより引き起こされたことも事実です。

いま私たちに必要なことは、地球環境が大气、水、土壌及び生物間の相互関係と自然の生態系によって維持されていることの再確認です。それは換言するならば、地球の自然環境と共生する「循環型社会」の構築だといえましょう。

そこで私たちは、Environment：環境、Food：食品、Education：教育、の視座からの「循環型社会」構築を目指し、E F E総合研究所を設立。非営利団体として、環境の保全、改善のために尽力していききたいと思います。

E F E総合研究所では、産官学民を問わず広く有志を募り、各々の持つ知識、経験、技術を結集し、環境保全・改善を目的とした「環境プロジェクトチーム」を編成し、多角的に環境問題と取り組んでまいります。

また、この組織は、水質汚濁、土壌汚染等、環境保全、改善のための調査、研究、その成果の普及、啓発及び助言、援助活動、セミナー等教育的なイベントの開催や企画立案、機関誌等による情報の提供、海外での環境保全、改善協力活動等を行うことによって、広く社会に貢献し、公益に寄与するものとします。

■ 事業内容

E F E総合研究所は、以下のような事業を推進いたします。

(1) 【研究・開発】

- ・ 下水処理・浄水施設等の現状調査
- ・ 環境・食品に関する商品開発
- ・ 環境事業の研究・開発提案
- ・ 環境保全、および環境事業に関する助言指導

(2) 【教育】

- ・ 「環境の時代」の〈衣食住〉を考えるセミナー・シンポジウムの開催
- ・ 環境・食品・教育問題に関する出版事業の企画立案
- ・ ウェブサイトを通じての環境に関する教育活動
- ・ 自然を体験するワークショップの開催
- ・ 環境フリースクールの企画立案
- ・ 人と自然との共生を古来より伝える、野外における芸能活動の調査とその表現活動
- ・ 環境をテーマとした映像・音楽等の企画製作

(3) 【コンサルティング／マーケティング】

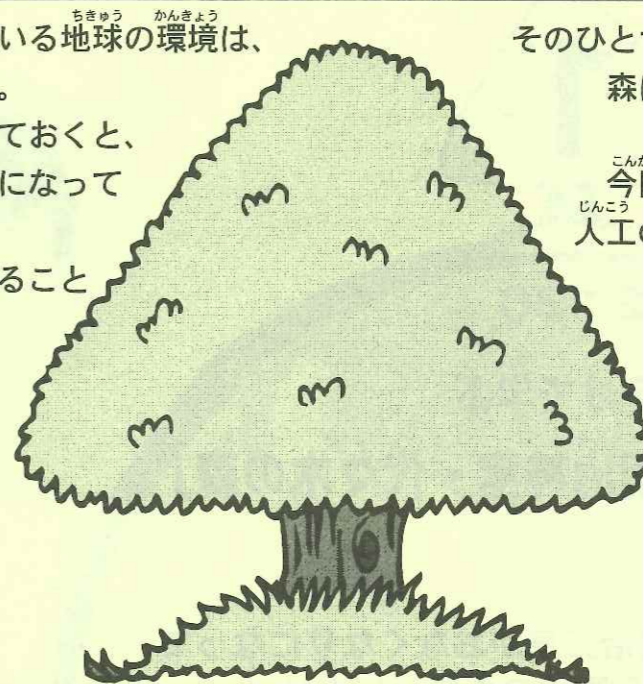
- ・ 〈産官学民〉による、環境プロジェクトの推進
- ・ エコシティづくりのコンサルティング
- ・ 町並み・景観事業の推進
- ・ 環境事業のマーケティング

NPO法人 E F E総合研究所
〒104-0061東京都中央区銀座1-18-8 電話03-3563-5990

第2回環境セミナー

親子で学ぶ地球環境と森づくり

いま、わたしたちがすんでいる地球の環境は、
こくこくと変化しています。
このまま環境問題をほおっておくと、
地球はとてもきげんな状態になって
しまいます。
そこで、わたしたちができること
はなんでしょうか？



そのひとつに「森づくり」があります。
森は地球温暖化や砂漠化などを
防ぐ役目をしてくれます。
今回は、東京で最大の森であり、
人工の森である明治神宮の森から、
「森づくり」のたいせつさについてのおはなしをします。

【日 時】平成17年4月5日(火) 午後2:30~4:30

【会 場】江戸東京博物館 1F大ホール

【プログラム】

2:30…ビデオで学ぶ「人がつくった明治神宮・代々木の森」

3:10…テーマ講演「森づくりは地球環境づくり」

◎濱野 周泰さん (東京農業大学助教授)

〈休憩〉

3:50…映像と音楽「森の響き」

◎小久保 隆さん (環境音楽家)

◎齋藤 秀夫さん (NHKテクニカルサービス エグゼクティブカメラマン)

総合司会◎北村 みえさん (NHK「生活ほっとモーニング」レポーター)

- 主催：E F E総合研究所
- 共催：東京都歴史文化財団 江戸東京博物館
- 後援：東京都教育委員会・東京都小学校PTA協議会・NHKエンタープライズ
- 協力：明治神宮・日本さくらの会・NHKテクニカルサービス
- 協賛：文化堂印刷

NPO法人 E F E総合研究所セミナー事務局
〒104-0061東京都中央区銀座1-18-8 電話03-3563-5990

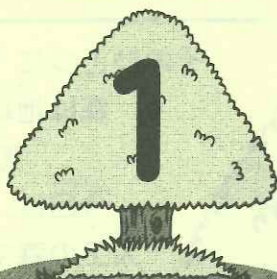
※廃棄物の発生抑制とリサイクルに務め、ゴミの減量化にご協力をお願いします。



第2回環境セミナー

親子で学ぶ地球環境と森づくり

愛知万博「愛地球博」がはじまりました。
この博覧会は「地球を守ろう！」がテーマです。
この環境セミナーもおなじテーマで開催します。



2:30

ビデオで学ぶ

「人がつくった明治神宮・代々木の森」

いまから85年前、明治天皇がおなくなりになって、おまつりしたいという国民のきぼうにより、明治神宮が建てられました。東京で最大の広さという明治神宮の森は、全国から贈られたたくさんの木を植えてつくった人工の森です。この人工の森がどのようにしてつくられて、どのようにしてまもり、そだてられてきたのか。そのようすをビデオでみてみましょう。

森は、汚れた地球環境をきれいにしてくれるといわれています。明治神宮の森は、大都会の東京にとって、とっても大切な存在なんです。きみたちもいちど、人がつくったこの森がどれだけすごいのか、勉強してほしい。

1953年、東京都生まれ。東京農業大学卒業。現在は東京農業大学造園科学課助教授として造園樹木の利用と生育環境についてのフィールドワークを舞台に研究。



濱野 周泰さん
(東京農業大学助教授)

きたむら

北村 みえさん (NHK「生活ほっとモーニング」レポーター)



いよいよ桜が満開の季節になりました。花よりダンゴのわたしも、きょうはみなさんと楽しく環境について勉強したいと思います。

8月4日東京都生まれ。早稲田大学人間科学学部卒業。アナウンサー、レポーターとして数多くのスポーツ・生活情報番組を担当。趣味は水泳、フラメンコなど。



3:10

テーマ講演

「森づくりは地球環境づくり」

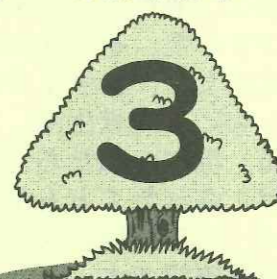
森は自然につくられていると思うけど、ほんとうは人がそだてていくんです。明治神宮の森は、ほかの公園の森とはちがってそだてながらも、人が入れないようになっていたから、こんなに立派になったんだ。大昔の人たちは、森で生活し、そして文明が生まれたとっても大事な所でもあるんだ。地球の環境のためにも、そして人間のふるさとでもある森のはなしをきいてみよう。

森のなかで耳をすましてみるといろいろな音がきこえてくるんだ。きょうは森の音をここで聴いてみて、本当の森を思いだしてみてごらん。森は人にやすらぎを与えてくれるよ。

1956年東京都生まれ。浜名湖花博や愛知万博、東京ディズニーリゾートなどの環境音楽を担当し、日本を代表する環境音楽家。スタジオ・イオン代表。



小久保 隆さん
(環境音楽家)



3:50

映像と音楽

「森の響き」

森にも音楽があるのをしっているかな？木のざわめきや、小鳥や動物などのなき声。そんな森のこえを音楽でえんそうするのが小久保さんだ。そして斎藤さんはテレビ・カメラマンとして世界中にさつえいにいったなかで、森が焼かれたり、砂漠になったりした姿をみてきたそうだ。森の音楽を聴きながら、森がどれだけわたしたちにとってたいせつなのか、おはなしをきいてみよう。



齋藤 秀夫さん
(NHKテクニカルサービス エグゼクティブカメラマン)

いま世界中の森では、木が切られたり、焼かれたりして、砂漠化がすすんでいるんだ。それを見てきたから、森をたいせつにする心を、みんなに伝えたいとおもいます。

1942年神奈川県生まれ。NHK入局後、映像カメラマンとして「名曲アルバム」や「シルクロード」(NHK特集)「NHKスペシャル」などを担当。国内外の受賞歴多数。